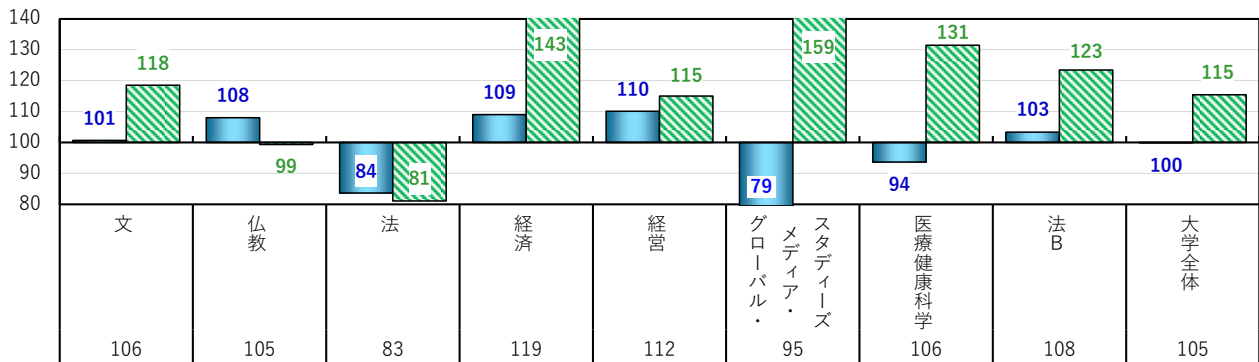


駒澤大：一般方式は前年度並、共テ利用は大幅増加

一般：-8人 共テ：+1,491人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点 選抜方法：医療健康科学(診療放射線技術科学)…<一般・T方式(3月)>廃止

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,483人(105)のやや増加で、志願者数は4年ぶりに30,000人を上回った。方式別では、一般方式は8人(100)の微減で前年度並。共通テスト利用方式は1,491人(115)の大幅増加で、志願者数は2年ぶりに11,000人を上回った。

<一般方式>

- 文(101)**は、微増だが2年連続増加。しかし、志願者数は3年連続で7,000人を下回った。学科・専攻別では、特に、(歴史/考古学)(136)は3年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(社会/社会福祉学)(72)は大幅減少、前年度の反動による大幅増減が継続。
- 法(84)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。志願者数は2,500人を下回った。学科別では、(法律/フレックスA)(81)は2年連続増加の反動で大幅減少、志願者数は1,600人台に減少。(政治)(89)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 経済(109)**は、増加。学科別では、(現代応用経済)(146)は大幅増加、2016年度以降、前年度の反動による大幅増減が継続。(経済)(116)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(商)(89)は、前年度3年連続減少の反動で増加したが、再び減少に転じた。
- 経営(110)**は、増加。志願者数は2年ぶりに3,000人を上回った。学科別では、(市場戦略)(122)は3年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は4年ぶりに1,000人を上回った。(経営)(105)はやや増加で2年ぶりに増加に転じた。
- グローバル・メディア・スタディーズ(79)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。方式別では、募集人員が若干名の<T方式(3月)>(111)は増加で4年ぶりの増加だが、志願者数は2年連続で50人を下回った。一方で、<S方式>(61)は2年連続大幅増加の反動で40%近い大幅減少、志願者数は400人を下回った。<T方式(2月)>(90)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 医療健康科学(94)**は、やや減少で3年連続減少。方式別では、<T方式(3月)>が廃止となり、<T方式(2月)>と<S方式>のみの募集。廃止された<T方式(3月)>を除くと(102)の微増。<T方式(2月)>(127)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、<S方式>(73)は前年度倍増以上の反動で大幅減少と対照的。

<共通テスト利用方式>

- 文(118)**は、大幅増加で3年連続増加。学部・専攻別では、10学部・専攻中、(社会/社会福祉学)(39)が前年度大幅増加の反動で激減だが、他の9学部・専攻はいずれも増加。特に、(歴史/考古学)(185)の激増、(英米文)(156)の大幅増加が目立った。
- 法(81)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(法律/フレックスA)(76)は大幅減少で2年連続減少、志願者数は3年ぶりに1,000人を下回った。政治(88)は2年連続大幅増加の反動で減少。
- 経済(143)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、3学科全てが増加。(商)(163)は前年度半減の反動で激増だが、志願者数は2年連続1,000人未満。(経済)(142)は前年度減少の反動で大幅増加。(現代応用経済)(110)は3年連続増加。
- 経営(115)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(経営)(122)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(市場戦略)(101)は前年度減少の反動はなく前年度並。
- グローバル・メディア・スタディーズ(159)**は、前年度半減以下の反動で60%近い大幅増加。反動による大幅増減が継続。
- 医療健康科学(131)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。